

国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）

第 82 回総会

国光副大臣ビデオメッセージ

議長、アリシャバナ事務局長、御列席の皆さま、

日本国外務副大臣の国光あやのです。

今年の総会は、「誰一人取り残さない：アジア太平洋地域におけるすべての年代のための社会の推進」という重要な課題をテーマにしています。

アジア太平洋地域は、急速な高齢化により人口構造の変化が進む一方で、若年層の雇用や社会参加の課題も存在しています。

すべての世代が能力を発揮し、支え合う社会の構築は、持続可能な発展のみならず、力強い経済成長の実現にも不可欠です。

日本は、世界に類を見ないほどのスピードで高齢化が進んでいます。

こうした中で、単に高齢者を支える仕組みを整備するだけでなく、高齢者を含むすべての世代が「担い手」として活躍し続けられる社会の実現に取り組んできました。

日本は、年齢に関わりなく希望に応じて活躍し続けられる経済社会の実現に向け、高齢者の就労機会の拡大、リスクリングの推進、デジタル技術の活用による社会参加の促進、また、健康寿命の延伸や社会保障制度の持続可能性確保にも取り組んでいます。

デジタル化やイノベーションは、世代間の格差を乗り越え、新たな機会をもたらす鍵です。

日本は少子高齢化の課題先進国としてこうした取組・知見をモデルとして示し、課題解決に向けたアジア太平洋地域との共創を推進していきます。

ESCAP は、アジア太平洋地域における知見の共有と能力構築を推進する重要なプラットフォームとして、中心的な役割を果たしてきました。

日本は、この ESCAP の活動を積極的に支えており、アジア太平洋地域等のこうした諸課題への対応力強化のために、国連アジア太平洋統計研修所と協力して、200 の国・地域の政府職員に研修を行い、統計分野の人材育成を支援してきました。

今後も ESCAP を通じて、各国の政策推進を支援するとともに、統計・データに基づく政策形成の強化に引き続き貢献していきます。

2030 年まで残された時間は限られています。「誰一人取り残さない」という理念の下、すべての世代が活躍できる社会の実現に向け、具体的な行動を一層加速していく必要があります。

日本は、引き続き ESCAP と連携し、「すべての世代のための社会」の実現に貢献してまいります。

御清聴ありがとうございました。

(了)